

12月のおすすめ花まる本

新着図書は
1日・10日に並びます。

一般書

『ワルツを踊ろう』

なかやま しちり 著
中山 七里 著

20年ぶりに帰郷した了衛を迎えたのは、閉鎖的な村人の好奇の目だった。彼は愛するワルツの名曲く美しく青きドナウ>を通じ、荒廃した村を立て直そうとするが…。どんでん返しミステリ。『ポンツーン』連載を加筆・修正。



児童書

『あいたくて あいたくて』

みやにし たつや 作・絵

嫌われ者のおおかみは、ひとりぼっちのケムシと大の仲良しになりました。いつも一緒にいたふたりですが、ある日突然ケムシがいなくなってしまう。おおかみはクリスマスツリーをつくり、夜空に祈りました…。



『笑顔のママと僕と息子の973日間』

しみず けん 著
清水 健 著

乳がんで亡くなった妻（享年29）、そのとき生後112日だった息子。シングルファーザーとなった関西の人気キャスター・清水健が、退社を決断し、前を向いて歩き始めるまでの973日間の記録。



『クリスマスがちかづく』

さいとう りん 作
斉藤 倫 作
くりはら たかし 画

セロはクリスマスなんて大嫌い。おとうさんは留守で、おかあさんはデパートのお仕事だから。どうしておとうさんは冬になると家に帰ってこなくなるのか、おかあさんに聞いただと、なんとおとうさんはサンタクロースで…。



D V D

『聲の形』

やまだ なおこ 監督
山田 尚子 監督

小学6年の将也は、転校生の硝子へ無邪気な好奇心を持つが、想いを伝えられない2人はすれ違い、分かり合えないまま硝子は転校してしまう。5年後、高校生になった2人は再会し、今まで距離を置いていた同級生達に会いに行く。



『文様えほん』

たにやま あやこ 作
谷山 彩子 作

植物・動物・自然をモチーフにした文様、季節の文様…。よく見かける着物の柄から家紋や世界の文様まで、古今東西300種の文様を、イラストでわかりやすく紹介する。



おりがみ教室

日時 12月3日(日) 14:00~

場所 中央公民館2階

対象 4歳から小学校3年生まで

定員 20人

※事前に図書館まで
申し込みを
してください。



おたのしみ会(おはなしの会)

日時 12月17日(日) 10:00~11:00

場所 中央公民館3階大会議室

内容 よみきかせ、紙しばい、

※12月のおはなしの会は、
3日(日)、10日(日)、17日(日)です。

みんなで来てね!

